

BSアンテナ

SAN-50HD2

取扱説明書

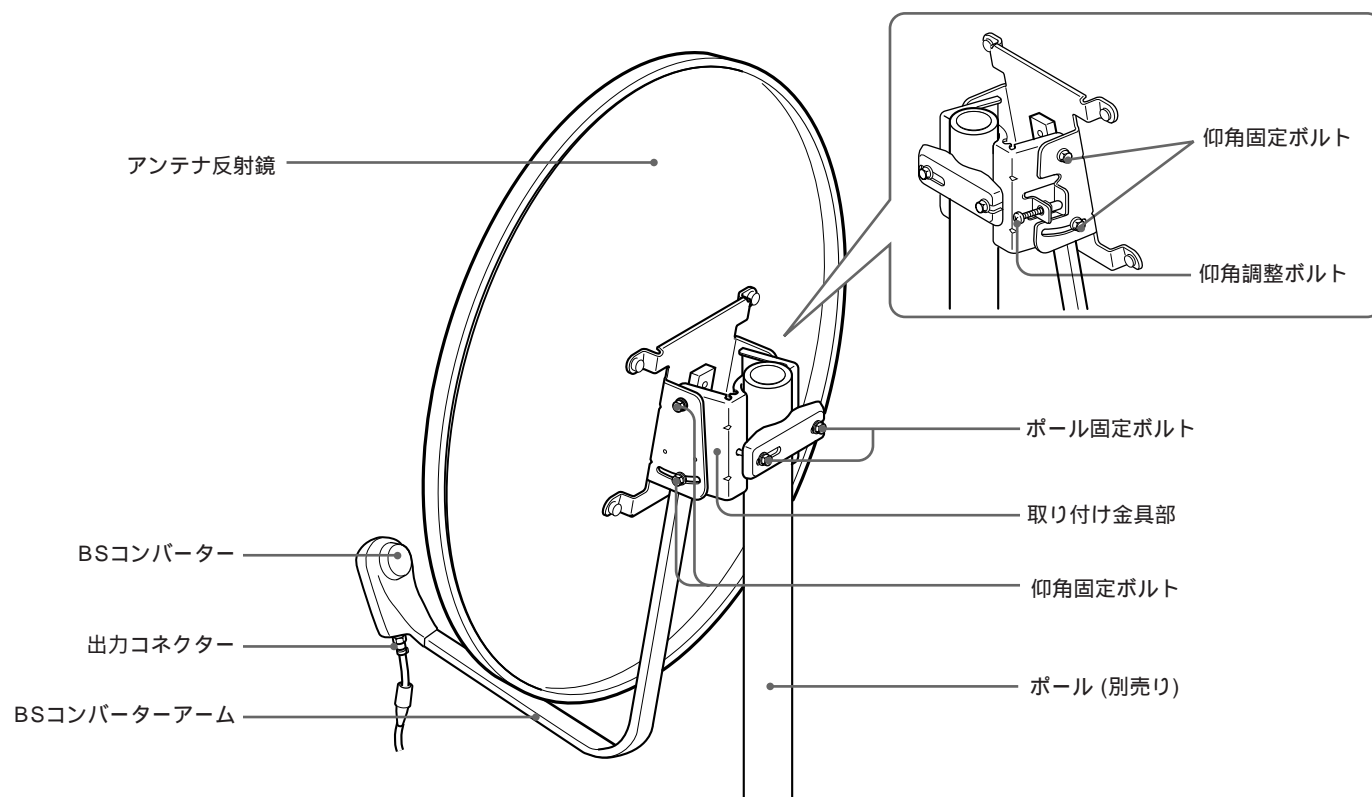
お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

各部のなまえ



使用上のご注意

アンテナ使用上のご注意

- ・ アンテナに無理な力を加えたり、ぶらさがったりしないでください。
- ・ アンテナの反射鏡を固いものでこすったり、傷つけたりしないでください。
- ・ アンテナの反射鏡の汚れは、水またはうすい中性洗剤溶液を含ませた柔らかい布で、軽くふいてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。
- ・ サテライト用同軸ケーブルは、高い周波数の信号を伝送するため、必ず、衛星放送受信用に造られたケーブルをご使用ください。
- ・ 本機を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

雨や雪の影響について

- ・ 衛星放送は、雪がアンテナに付着したり、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったりすると、電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。
- ・ 雪が多量に付着して画面の映りが悪くなったときは、アンテナの反射鏡を傷つけないように注意しながら、雪を取り除いてください。
- ・ 台風などの強風のあとは、アンテナや取り付け金具にゆるみや異常がないかを確認してください。

主な仕様

アンテナ形式	オフセット型パラボラアンテナ
受信周波数範囲	11.7～12.01GHz
受信偏波	右旋円偏波
アンテナ利得	34.8dB(標準)
開口効率	76%
ビーム半値角	3.4°
反射鏡短径	500mm
コンバーター雑音指数	0.8dB(標準)
コンバーター利得	53±5dB
局発周波数	10.678GHz
出力周波数	1.022～1.332GHz
出力構造	F型75 コネクター
出力VSWR	2.5以下
使用温度範囲	-30～+50
耐風速	50m/s
電源電圧	DC15V(出力端子から供給)
消費電力	1.4W
外形寸法	535×650×495mm (幅/高さ/奥行)
質量	約2.2kg
付属品	F型コネクター(5Cケーブル用×1) 防水キャップ(1) 取扱説明書(1) 安全のために(1) 保証書(1) サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1)
別売りアクセサリ	サテライト用同軸ケーブル SAK-C10(10m) SAK-C20(20m) SAK-C30(30m) アンテナ取り付け金具 ANJ-C1, ANJ-B1, ANJ-K1, ANJ-BX1 その他のポール径 38.0～42.7mm の取り付け金具もお使いになれます。 アンテナスタンド ANH-100 サテライト分配器 EAC-BC2 EAC-BC4 サテライト終端器 EAC-T75 サテライトラインブースター BO-BC20 サテライト/UV混合分波器 EAC-BCUV

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客先ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Printed in Japan

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
まずチェックを

次の点に注意して、もう1度お調べください。

- サテライト用同軸ケーブルは、正しく接続されていますか？
- BSチューナー(またはBSチューナーを内蔵したテレビ・ビデオ)のコンバーター用電源は「入」になっていますか？
- BSアンテナは正しく組み立てられていますか？
- BS(放送衛星)の方向に障害物はありませんか？
- BSアンテナは正しく衛星の方向を向いていますか？

それでも具合が悪い
ときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

取り付け作業に入る前に

ご注意

- ・この取扱説明書をよく読んでから、作業を始めてください。
- ・風の強い日や、雨、雪などの天候の悪い日は、危険ですので取り付け作業は行わないでください。
- ・BSアンテナを落としたり、ぶついたりしないように注意してください。
- ・組み立てや調整のため以外のネジやボルトは回さないでください。
- ・マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合や自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。
- ・アンテナポールに取り付ける場合は、ポール径は 38.0 ~ 42.7mmのものをご使用ください。

ベランダに取り付ける場合

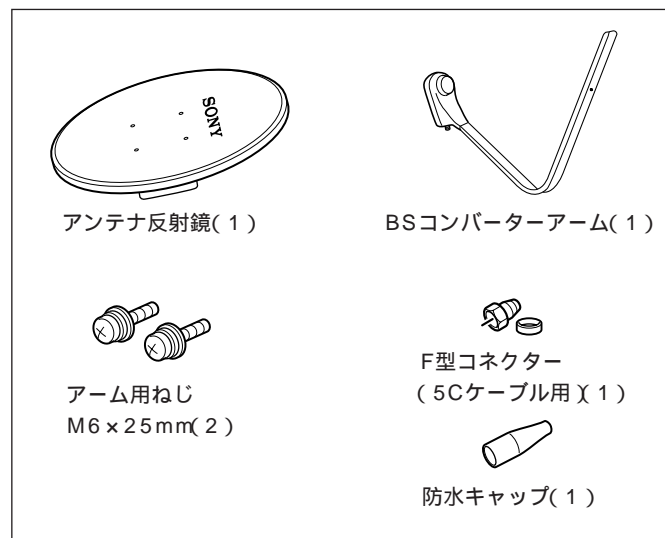
- ・2階以上のマンションやアパートなどの場合、ベランダの外側に出る部分を取り付けるときは網などをつけて、部品の落下を防止、十分に注意して取り扱ってください。
- ・ベランダの耐久力については、工事施工者にご相談ください。ベランダがアルミ製の場合、強度などによっては取り付けられないことがあります。また、鉄製その他の場合は、腐食していないことを確認してください。取り付けにあたっては、安全性や信頼性を充分考慮してください。

作業手順

- 1 設置場所を選ぶ。
裏面の「BSアンテナの設置場所」をお読みください。
- 2 アンテナを取り付ける。
- 3 BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビなどにつなぐ。
- 4 アンテナの方向・角度を調整する。
- 5 アンテナを固定する。

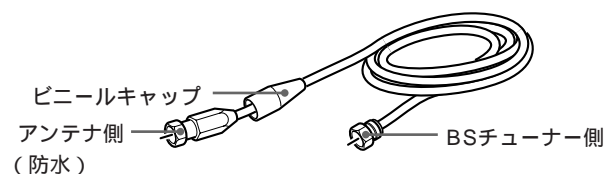
組み立てに必要な部品

組み立てる前に以下の部品がそろっているかお確かめください。



その他設置に必要な別売り品

サテライト用同軸ケーブル
SAK-C10(10m)
SAK-C20(20m)
SAK-C30(30m) } いずれか1本



ポール(アンテナ取り付け金具)
1本

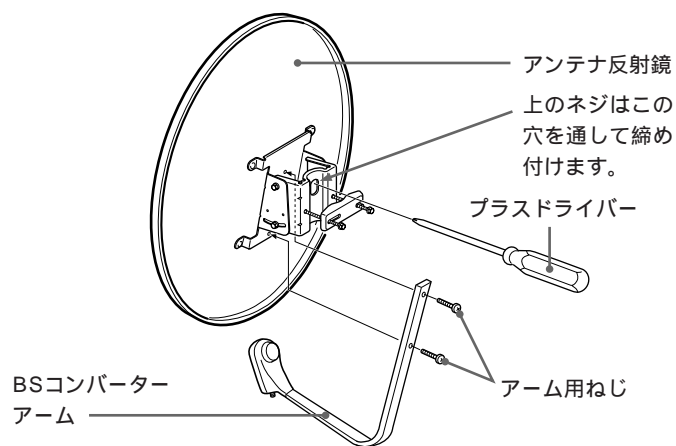
適合ポール径 38.0mm ~ 42.7mm

長いポールをお使いになる場合は、できるだけ径が大きく、丈夫なポールを選んでください。

ビニールテープ
市販のものをお使いください。

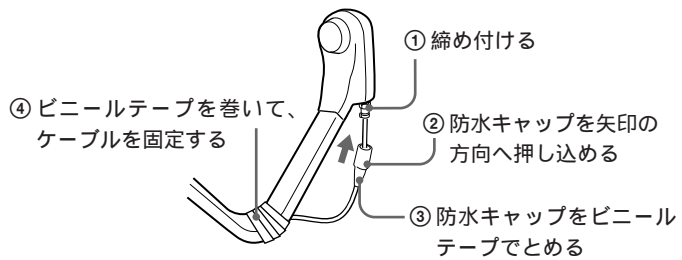
アンテナを組み立てる

1 アンテナ本体にBSコンバーターアームを取り付ける。



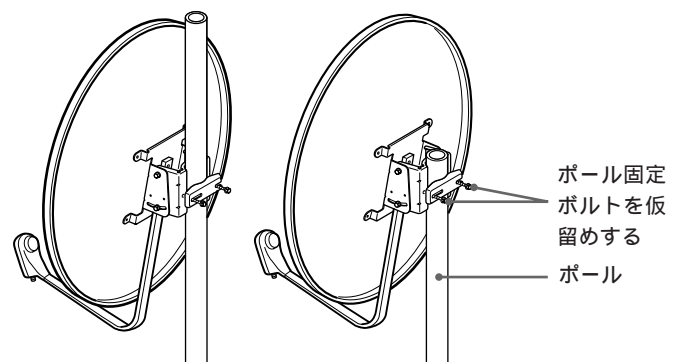
3 サテライト用同軸ケーブル(別売り)を接続する。

- 1 ケーブルにF型コネクタを取り付ける。(下の「F型コネクタの取り付け方法」をご覧ください。)
- 2 F型コネクタをBSコンバーターに接続する。



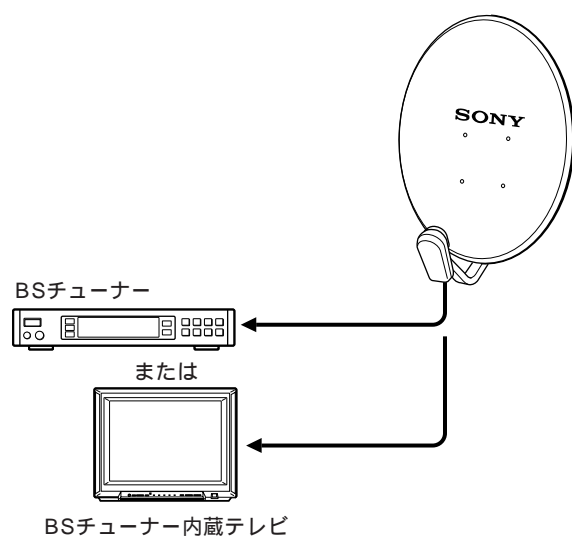
2 ポールに取り付ける。

九州より北の地域では、ポールの中間に取り付けることもできます。



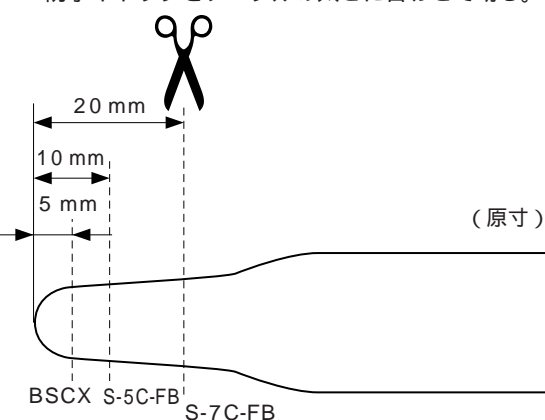
4 BSチューナーなどに接続する。

接続のしかたは、BSチューナー(またはBSチューナー内蔵テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。接続が終わるまで、安全のためBSチューナーなどの電源は切っておいてください。

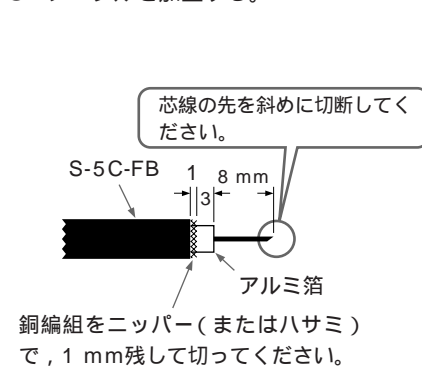


F型コネクタの取り付け方法

1 防水キャップをケーブルの太さに合わせて切る。

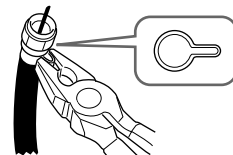


3 ケーブルを加工する。

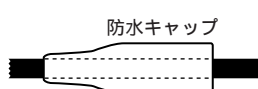


5 かしめ用リングをペンチで圧着する。

プラグが抜けないように、プラグの根元で、しっかりと圧着してください。

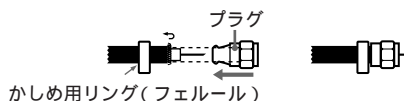


2 ケーブルを防水キャップに通す。

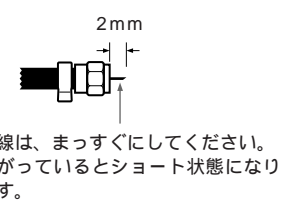


4 F型コネクタを取り付ける。

- 付属のF型コネクタは、5C用です。
- ① かしめ用リングを、ケーブルに通してください。
 - ② あみ線(銅編組)を折り返してください。
 - ③ プラグを強く押し込んでください。



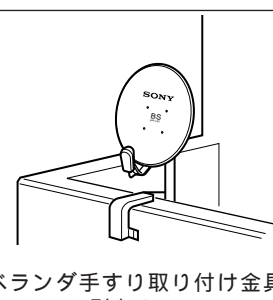
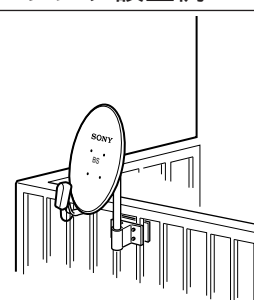
完成図



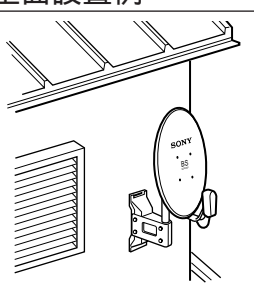
BSアンテナの設置場所

アンテナの設置場所には、電波が来る方向(「地域別仰角/方位角表」に示された仰角・方位角の方向)に建築物や樹木がなく、人の通行のじゃまにならない場所をお選びください。アンテナ設置後も、電波の来る方向に障害物を置かないようにご注意ください。

ベランダ設置例



壁面設置例



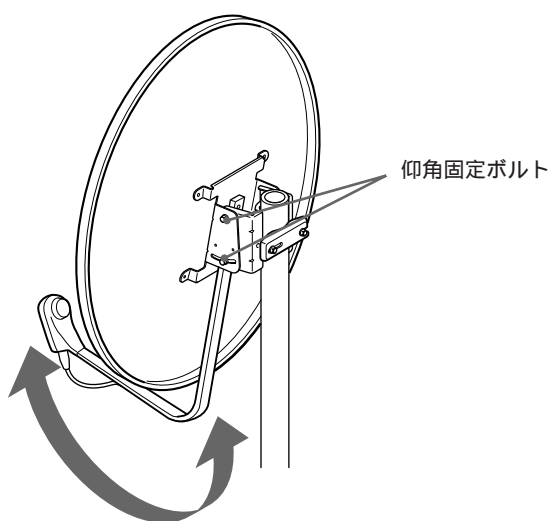
室内設置例



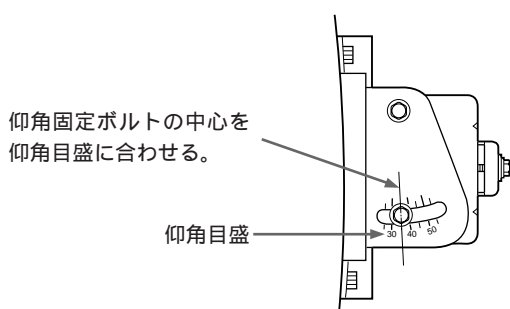
仰角・方位角を調整する

1 BSチューナーなどの電源を入れる。
コンバータ電源の設定の方法は、BSチューナー(または、BSチューナー内蔵テレビなど)の取扱説明書をごらん下さい。

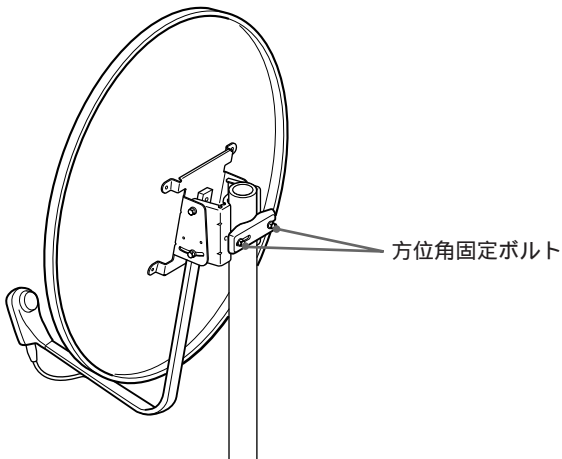
2 仰角固定ボルトをゆるめる。



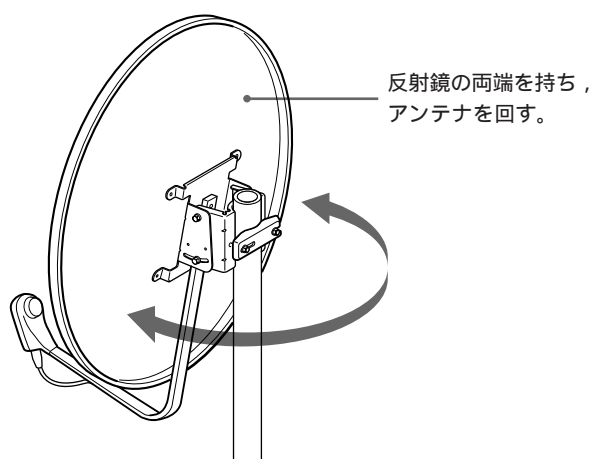
3 仰角をだいたいの位置に合わせる。
下の「日本の各地域での仰角と方位角」を参照して自分の地域の仰角に合わせておきます。



4 方位角固定ボルトをゆるめる。



5 アンテナを南西方向に向け、テレビ画面のアンテナレベルが最大になるまで左右に動かす。



お使いになるソニーのBSチューナー(またはBSチューナー内蔵テレビなど)によっては、テレビ画面にアンテナレベルが表示されますので、調整が簡単に行えます。アンテナレベル表示のないBSチューナーをお使いの場合は、お買い上げ店にご相談ください。

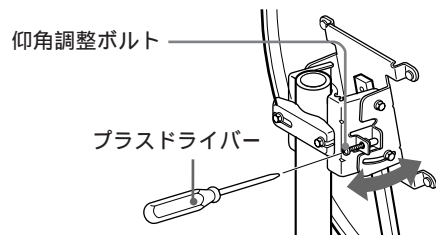
現在のアンテナレベル。
右の値に近づくようにアンテナを調整する。



今まで入ってきた電波の中で最大のアンテナレベル。これを目安にしてアンテナの方向を決める。

6 仰角・方位角を微調整する。
アンテナレベルが最大になるように慎重に調整してください。

- 仰角は、仰角調整ボルトを回しながら微調整する。
- 方位角は、5をくり返して微調整する。

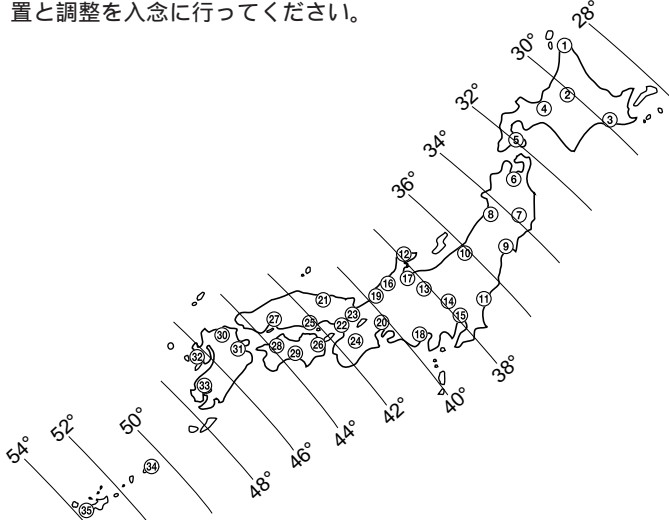


7 仰角固定ボルトと方位角固定ボルトをしっかり締める。

テレビ画面のアンテナレベルが変わらないことを確認しながら締めます。変わったら、3～6の方法で締め直します。
アンテナの角度・方向が動かないようにボルトは確実に締めてください。

日本の各地域での仰角と方位角

BSアンテナは鋭い指向性をもっているので、衛星の方向へ正しく向けておかないと、受信装置の性能を十分に発揮できません。あなたの地域での仰角と方位角をお確かめのうえ、アンテナの設置と調整を入念に行ってください。

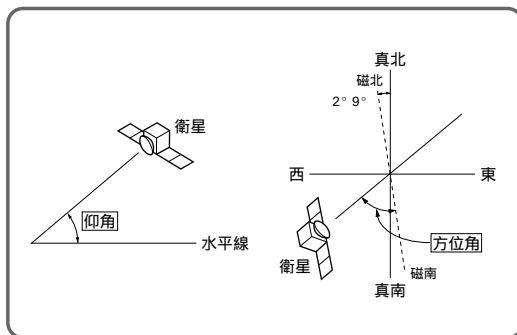


地域別仰角 / 方位角表

地域	仰角	方位角	地域	仰角	方位角
① 稚内	29°	50°	⑩ 福岡	45°	40°
② 旭川	30°	51°	⑪ 大分	46°	41°
③ 釧路	31°	53°	⑫ 長崎	47°	41°
④ 札幌	31°	50°	⑬ 鹿児島	47°	41°
⑤ 函館	32°	50°	⑭ 那覇	54°	38°
⑥ 青森	33°	50°			
⑦ 盛岡	34°	51°			
⑧ 秋田	35°	50°			
⑨ 仙台	36°	49°			
⑩ 新潟	37°	51°			
⑪ 水戸	37°	51°			
⑫ 輪島	38°	47°			
⑬ 長野	38°	47°			
⑭ 前橋	39°	47°			
⑮ 東京	39°	47°			
⑯ 金沢	40°	46°			
⑰ 富山	40°	46°			
⑱ 静岡	40°	46°			
⑲ 福井	40°	46°			
⑳ 名古屋	41°	44°			
㉑ 鳥取	41°	44°			
㉒ 大阪	41°	44°			
㉓ 京都	41°	44°			
㉔ 津	42°	44°			
㉕ 岡山	42°	44°			
㉖ 徳島	42°	44°			
㉗ 広島	43°	42°			
㉘ 松山	43°	42°			
㉙ 高知	44°	43°			
㉚ 福岡	45°	40°			
㉛ 大分	46°	41°			
㉜ 長崎	47°	41°			
㉝ 鹿児島	47°	41°			
㉞ 那覇	54°	38°			

仰角・方位角とは
仰角は水平に対して電波が来る角度です。オフセット型アンテナの反射鏡の角度とは異なります。

磁針が示す磁北・磁南は、真北・真南とは異なります。
地域別仰角 / 方位角表の方位角は、磁石を使うための、磁南からの角度を示しています。



BSアンテナ使用地域の目安

雨の影響がない状況下では、外側の0の地域では従来の衛星放送が、内側の0の地域ではハイビジョン放送が、それぞれ良好な受信品質で見られます。
(ハイビジョン放送は、ハイビジョンテレビ(ハイビジョンモニター)でご覧下さい)

<従来の衛星放送の必要受信CN比>
晴天時、14dB以上
<ハイビジョン放送の必要受信CN比>
晴天時、19dB以上

BS-3受信時

